

参加者一同「わ」になって

県高等学校総合文化祭

十二月十一日、ブリックホールで開催された県高等学校総合文化祭合同開会式。県下の高校が集まり、「わのテーマのもと、多彩な発表が行われました。」

今回のテーマの「わ」は和、環、輪などいろいろな言葉の連想を重ねて、皆で一つになろうとの意味が込められています。長崎地区の高校から観客として多くの生徒が観覧し、この日のメインはステージでの発表。迫力ある書道と和太鼓と美術がコラボしたパフォーマンスと響く中、書道部と美術部の手によって今回のテーマである「わ」が描かれました。徐々に豪華に浮かび上がった。他にも吹奏楽、

縁の下の力持ち

今回、我々新聞部の役割は県総文祭の様子を即興で書き上げて発行すること。この速報新聞作成は長崎南・長崎商業・長崎明誠など他校の新聞部と協力しての活動。取材・写真・編集と役割を決め、制作スタイルを統一し発表を見たという気持ちを抑え、休む間もなくイベント中も取材に駆けつけました。

▼美術、書道、太鼓のコラボによる「わ」



長崎の伝統 龍踊り ▶



十二月十六日から二十日の五日間にかけて行われた高美展。長崎県立美術館に市民ギャラリーにて五十七校の生徒の作品が展示されました。本校からも十五作品が出品され、見事七作品が入賞。受賞した11川脇さんとI2徳久さんにインタビューしました。

スポーツピッス 県新人戦

秋から冬にかけては新人戦のシーズン。まずは第一陣の部活動の中からピックアップインタビューしました。

2000Mバタフライ 第一位!

水泳男子では2000Mバタフライの部で前田彪牙くんが見事一位を獲得しました。一年生でありながらも素晴らしい泳ぎを見せた彼に後日一言コメントを聞いたところ、「一位を取れてホッとした」とのこと。水泳競技

想いと描いて 高美展

十二月十六日から二十日の五日間にかけて行われた高美展。長崎県立美術館に市民ギャラリーにて五十七校の生徒の作品が展示されました。本校からも十五作品が出品され、見事七作品が入賞。受賞した11川脇さんとI2徳久さんにインタビューしました。



▼平和を訴える 徳久さんの作品

CGGの部優秀賞 I2徳久椋子さん 題名「終わらなげ連鎖」

①反戦ボクスター ②楽しいイメージのメリゴーランドの中に怖いイメージの戦争を取り入れたこと ③無機物を描くときの線画が四日くらいかかった ④高いレベルの作品を見た

期待のエースとなりそうです。

ソフトテニス・ハンドボール・バドミントン・団体バドミントン 団体バドミントン 八買!

●ソフトテニス部主将 A2 前田拓海くん 「チーム全体で、まだ足りないところがあるので、高総体に向け、チーム一丸となるよう頑張りたいです。」

●バドミントン部主将 D2 楠本浩志くん 「ベスト4という結果は、チームメイトと今まで頑張ってきたことのできた結果です。次はさらに上を目指します。」

●ハンドボール部主将 C2 黒川晶斗くん 「目標は強敵の瓊浦高校と長崎日大を倒すことだったが出来なかった。しかし、そこで新たな課題を見つけたので、これから頑張っていきます。」

二年生が中心となり新チームでのぞんだ今回の県新人戦。次につながる結果を残したいというチームとなったこと、多いようです。次号でも県新人戦の第二陣の結果をお伝えします。

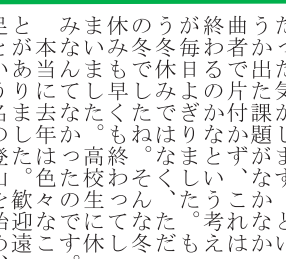
「今日も生きるために…」 ①ごみ山でごみを拾っている少年を描きました。 ②ごみを水彩で塗ることと人との濃染をはっきりとさせた所。 ③少年の物を拾う姿勢を描いたこと。

今回の高美展には新聞部からも二名が参加。会場設営や搬入撤去の大変な中、二名が参加。会場設営や搬入撤去の大変な中、二名が参加。会場設営や搬入撤去の大変な中、二名が参加。

一年生な日々

新年明けまして、おめでとうございます。今年も新聞部とともよろしくお願ひします。さて、みなさん冬休みはいかがお過ごしでしたか。私はほとんどが補習だった気がしますが、なかなか出た課題がなかなか終わるのかなと、これは毎日よりました。もう冬休みではなく、ただ休みの冬も終わってしまいました。高校生に休みなんでなかったのです。本当に去年は色々なこととありました。歓迎遠足という名の登山を始め、総文祭、オープンスタクル、体育祭、工業展、県総文祭などの色々な行事で一番印象に残っているのは県総文祭です。県総文祭では、他校と協力して一日で三校新聞を発行しました。お昼からはステージがあったのですが、編集作業が忙しく楽しみに逃してしまいました。仕方がないので他の人たちが撮ってきた写真でステージを楽しみました。

早くも始まりました。三学期。一年生最後の学期になります。私は残り一年生の時間を楽しく濃く過ごしていきたいです。



▲寒い冬にもひんやりアイス

中も外も 冷蔵庫! 冬の化学教室

十二月二十六日に開かれた化学教室。夏休みにも行われた化学教室ですが、希望者が多く、参加できない人がたくさんいたため急遽冬休みにも化学教室を開くことになったとのこと。今回取り組んだのは化学反応を学べる

「鏡」と「アイスクリュー作り」のアイスクリームは材料をガラスにアンモニアを加えてアイスクリューは材料を液体窒素で急激に冷やして作っていました。参加した子供達にアイス作りが楽しくて、「アイス作りが楽しくて、笑顔で答えてくれました」と笑顔で答えてくれました。保護者の方にも「アイス作りが楽しくて、笑顔で答えてくれました」と笑顔で答えてくれました。保護者の方にも「アイス作りが楽しくて、笑顔で答えてくれました」と笑顔で答えてくれました。

▲会議の様子

高美展だよ てふ互生!!!

～思わず、おながが～

講評会

「バランスが微妙だなあ」…辛口なコメントです

和食を 楽しむ

これは!?

和食を 楽しむ

私は 桜餅が たまらない!

オマエも かいW

友達 天ぷら派!

※やっぱり花より…いや絵より団子

ロボコン道

ロボ研超会議②

前号の添付していた写真が見つけられず誠に申し訳ありませんでした。

年が明けるとまだ会議には問題があるというところ。問題点・改善点として、

- ・知識不足
- ・アイデア不足
- ・整理整頓を行う
- ・イメージの共有

真が見つけられず誠に申し訳ありませんでした。

年が明けるとまだ会議には問題があるというところ。問題点・改善点として、

- ・知識不足
- ・アイデア不足
- ・整理整頓を行う
- ・イメージの共有

編集 後記

冬休みから続いた今号の制作…、いよいよ今年も戦いが始まりました。昨年同様、さまざまな活動の人たちや先生方が協力して頂きました。ありがとうございます。今年も一杯新聞発行に努めていきたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願い致します。

(塚根)